

テレコムニカシ・インドネシア(TLKM)

光ファイバー海底ケーブル敷設および国営企業連合によるスマホ決済事業の開始など、デジタル化が進展 インドネシア | 通信事業者 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG TLKM:IJ | REUTERS TLKM:JK

- 2019/12 期 1Q (1-3 月) は、売上高が前年同期比 7.7%増の 34.84 兆 IDR、EBITDA が同 8.8%増の 17.53 兆 IDR だった。
- 「データ・インターネット、IT サービス事業」が牽引し増収・増益を確保。音声事業は、スマホやモバイルサービス進展により減収。
- 光ファイバーの海底ケーブル敷設完了および国営企業連合によるスマホ決済事業（リンクアジャ）の開始など、デジタル化進展による業績拡大に期待。

What is the news ?

5/2 発表の 2019/12 期 1Q (1-3 月) は、売上高が前年同期比 7.7%増の 34.84 兆 IDR。「データ・インターネット、IT サービス事業」が成長ドライバーとなった。総費用は同 6.3%増の 22.81 兆 IDR、営業利益が同 10.6%増の 12.02 兆 IDR。営業・メンテナンス費用増、および国際間の大企業向け音声事業拡大による費用増を吸収した。EBITDA が同 8.8%増の 17.53 兆 IDR、純利益が同 8.5%増の 6.22 兆 IDR。SIM カードのユーザー登録が功を奏し始め、個々のユーザーごとに最適化された製品提案が可能になり、マーケティング費用の効率化に寄与した。収益性については、EBITDA マージンが前年同期の 49.8%から 50.3%へ、純利益マージンが同 17.7%から 17.9%に向上した。

サービス別の売上高は以下の通り。「データ・インターネット、IT サービス事業」は、モバイル通信量増と IndiHome サービスの登録者数増により、同 27.2%増の 20.24 兆 IDR。「データ音声通信・SMS 事業」は、スマホのインスタント・メッセージアプリ (OTT) 普及のあおりを受けて同 22.7%減の 8.28 兆 IDR。「固定音声電話事業」は、モバイルサービス普及の影響から同 11.7%減の 1.36 兆 IDR。「相互接続事業」は、海外の大企業向け音声ビジネスを開始したことから同 37.6%増の 1.61 兆 IDR。「ネットワーク・その他通信サービス収入」は、企業向け顧客への ICT (情報通信技術) ソリューションが貢献し、同 11.4%増の 3.33 兆 IDR。

How do we view this ?

同社はデジタル通信インフラ整備への投資を継続している。子会社のテレコムセルでは、2019/12 期 1Q に 4G 基地局を 8,405 箇所設置した。更に、2018/11 に「インドネシア・グローバル・ゲートウェイ (IGG)」と呼ばれる光ファイバーの海底ケーブル敷設を完了し、伝統的な音声事業からデジタル事業への切替えが一気に進むことが見込まれる。更に、国営銀行 4 行および石油最大手のプルタミナとスマホ決済事業（リンクアジャ）のサービスを 2019/3 に開始したことも注目である。2019/12 通期の市場予想は、売上高が前期比 8.8%増の 142.35 兆 IDR、純利益が同 16.7%増の 21.04 兆 IDR。

業績推移

※参考レート 1IDR=0.0076円

| 事業年度 | 2016/12 | 2017/12 | 2018/12 | 2019/12F | 2020/12F |
|------------|---------|---------|---------|----------|----------|
| 売上高(十億IDR) | 116,333 | 128,256 | 130,784 | 142,356 | 153,612 |
| 純利益(十億IDR) | 19,352 | 22,145 | 18,032 | 21,045 | 23,491 |
| EPS(IDR) | 196.19 | 223.55 | 182.03 | 217.70 | 228.86 |
| PER (倍) | 18.35 | 16.10 | 19.78 | 16.54 | 15.73 |
| BPS(IDR) | 851.83 | 935.91 | 998.46 | 1,159.79 | 1,124.32 |
| PBR (倍) | 4.23 | 3.85 | 3.61 | 3.10 | 3.20 |
| 配当(IDR) | 117.55 | 167.66 | - | 154.55 | 172.95 |
| 配当利回り (%) | 3.27 | 4.66 | - | 4.29 | 4.80 |

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

| | | |
|-----------|--------|----------------|
| 配当予想(IDR) | 154.55 | (予想はBloomberg) |
| 終値(IDR) | 3,600 | 2019/5/20 |

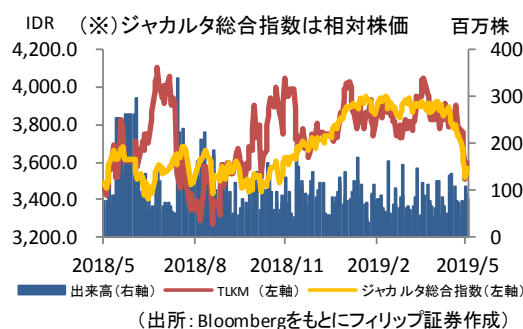
会社概要

1965年に設立された国営の情報通信会社。1995年にはインドネシアで初のポストペイド携帯サービス「Kartu Halo」を提供したことで知られる子会社のTelkomselを設立した。同社はモバイル(通話、SMS、モバイルブロードバンド)、固定回線(固定電話、固定ブロードバンド)、大規模通信・国際通信(中継電話、ネットワークサービス、ハビングデータセンターなど)、ネットワーク・インフラストラクチャー(衛星通信、電波塔など)、法人向けデジタルサービス(ITプラットフォームサービスなど)、消費者向けデジタルサービスの6つの事業を行っている。

2018/4時点、同社のデータ通信顧客数は1億9,630万人に達する。ブロードバンド通信顧客数は1億1,110万人、そのうち固定ブロードバンドが530万人(内、290万人の「インディホーム」利用顧客を含む)を占める。モバイルのブロードバンド顧客数は1億580万人である。同社はインドネシアのデジタル通信ネットワークにおけるインフラ投資を続けており、光ファイバー網はアチェ州からバブア州にまで及ぶ。また、国際間の海底ケーブル網も欧州、アジア、アメリカを結ぶ。

企業データ(2018/5/21)

| | |
|------------------|---------|
| ベータ値 | 0.82 |
| 時価総額(十億IDR) | 359,596 |
| 企業価値=EV(十億IDR) | 401,336 |
| 3ヵ月平均売買代金(十億IDR) | 288.6 |



主要株主(2019/5)

| | |
|--------------------------------|-------|
| 1.インドネシア共和国 | 52.09 |
| 2.BANK OF NEW YORK MELLON CORP | 5.20 |
| 3.VANGUARD GROUP | 1.68 |

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

増淵 透吾
 togo.masubuchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707

テレコムニカシ・インドネシア(TLKM)

2019年5月21日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増渕透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>